

令和 3年度予算見積調書

課室名: 森づくり課
 担当名: 治山・森林管理道担当
 内線: 4316 (単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|------------|------|--|---|--------|----------------|-----|-----------|------------------|
| B83 | 治山施設点検調査事業 | | | 一般会計 | 農林水産業費 | 林業費 | 治山費 | 治山事業費 | |
| 事業期間 | 平成30年度～ | 根拠法令 | 林野庁インフラ長寿命化計画 治山施設に係る個別施設計画策定のためのガイドライン | 宣言項目 | 03 | 大地震など危機への備えの強化 | | SDGsゴール | 11, 15 |
| | | | | 分野施策 | 020518 | 治水・治山対策の推進 | | SDGsターゲット | 11-b, 15-1, 15-2 |
| 1 事業概要 | | | | 5 事業説明 | | | | | |
| <p>治山施設は、山地災害から県民の生命や財産・公共施設等を保全する重要なインフラである。 県が、長年に渡り設置し管理している治山施設について、長寿命化対策の推進を図るため、治山施設長寿命化計画に基づき点検・調査・診断を行い、効率的で経済的な施設の維持管理・更新につなげる。</p> | | | | <p>(1) 事業内容 治山施設の点検・調査・診断 実施箇所数 540箇所 42,572千円</p> <p>(2) 事業計画 平成30年度～令和5年度 治山施設2,850箇所の初回点検・追加調査・健全度の診断 令和6年度以降 定期点検を実施</p> <p>(3) 事業効果 修繕や更新の必要な施設を把握することにより、予防保全型の維持管理が行える。 また、点検結果を踏まえ、補修対策の優先度を判定することにより計画的なメンテナンスサイクルが構築でき、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減、予算支出の平準化が図れる。 さらに、治山施設の効果が長期に渡って適切に発揮されることにより、山地災害の予防・被害の軽減に資する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 職員により治山台帳及び施設位置図の修正更新を行う。 また、個別施設計画のとりまとめ及び修繕計画の策定を行う。</p> <p>(5) その他 なし</p> | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円 | | | | | | | | | |
| | | | | 財 源 内 訳 | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| 予算額 | | | | | | | | | |
| 決定額 | 42,572 | | | | | | | 42,572 | △10,643 |
| 前年額 | 53,215 | | | | | | | 53,215 | |